

第5回 伊丹市行財政審議会 議 事 録

伊丹市行財政審議会

1. 日 時 令和6年9月3日（火） 18：00 ～ 19：30
2. 場 所 市役所2階 201 会議室
3. 出席者 【委員】
上村委員（オンライン）、小園委員、橋本委員、藤原委員、
松尾委員、松岡委員、和田委員
【事務局】
大竹財政基盤部長、野中財政企画室長、山田経営企画課長、
熊畑主査、高辻主任、松岡職員
4. 傍聴者 0 名
5. 次 第 （1）議題
① 第4回審議会の議事録
② 伊丹市行財政審議会答申書（案）について
（2）諸連絡

- 事務局 ・ 本日の審議会は委員皆様ご出席いただき、伊丹市行財政審議会規則第6条第2項の規定により本審議会は成立していることを報告する。
- 会長 ・ 会議録の署名については、名簿順で今回は上村委員と藤原委員にお願いしたい。
・ 本審議会は前回と同様に公開としている。本日も傍聴者は0人である。

(1) 議題

①第4回審議会の議事録

<事務局より資料に基づいて説明>

- 会長 ・ ご意見等、何かお気づきの点があればご発言いただければと思う。
<意見無し>
・ お認め頂いたこととする。

②伊丹市行財政審議会答申書（案）について

<事務局より資料に基づいて説明>

- 会長 ・ ご意見ご質問等を伺いたい。
- 委員 ・ 答申書鑑のうち、下段の「持続可能な行財政運営が図られるよう」のところは、「より一層」もしくは「さらに」を加えて強調されてはどうか。今までやってきた継続性の意味で必要かと思う。
- 委員 ・ 伊丹市は、行革を着実にやっている自治体だと思うが、それでも、今後30年で590億の収支不足が生じるということなので、他の自治体を含め、今後相当厳しくなってくると感じている。
・ 1ページの「はじめに」のうち、今後の行財政運営のあり方

についての段落で、①から④までの順番は、並列か優先順位のどちらで記載しているのか。

- 事務局 ・ 並列で記載しており、どれも同じように重要だと認識している。
- 委員 ・ ①公共施設マネジメントは、重要度が高いので今の順番で問題ないが、②事務事業の見直しは、恒常的に実施できているため、これが優先順位付けだとすると、③の公営企業や第3セクターの経営改革の方が優先順位が高いのではないかと思った。並列なら問題ない。
- 会長 ・ 私も同じようなことを考えた。行財政改革のエネルギー量を考えて、③の方がエネルギーが必要だということと言える。論点は②と③を入れ替えるかどうかということ。
- 委員 ・ 確かにおっしゃる通り。そうすると7ページから入れ替えが必要になるのではないか。
- 事務局 ・ ②と③の順番を入れ替えさせていただく。
- 会長 ・ 6ページの現行財政プランでは、30年間で600億円の収支不足が生じるという表現がある一方、「はじめに」のところでは、今後30年間で590億円の収支不足が見込まれると説明している。相変わらず600億円程度の収支不足があり、今の行財政プランで一体何をしていたのかという印象を受ける。初めて見た人は、このように感じる可能性があると思った。
- 事務局 ・ 現在の行財政プランは、コロナが出始めた年に作成している。作成時点では、市税収入は大きく落ち込む見込みを立てていたが、令和3年度～5年度の決算を見ると市税収入の落ち込みは無く、結果として収支不足の解消の方に働いている。一方、物価・賃金の上昇によって公共施設マネジメントで1.5倍に価格が膨れ上がったことに加えて、物件費、人件費が高騰することも見込まれたため、同程度の590億円という試算結果になった。文章の中では表現できていないので、

行財政プランの中で、色々な要因が重なり同じような数字となっていることは表現できるようにしたい。

- 会長
- ・ 審議会の中で、これまでの取組についての分析を示していただいているので、我々はよく理解しているが、この答申だけを読む人がどう感じるかを考慮し説明していく必要がある。可能な限りこの中で表現していく必要がある。
- 事務局
- ・ 今のご意見を踏まえ、現行財政プランでの収支不足の進捗状況や、物価高や賃上げといった背景の変化を含めて7ページで肉付けをするような形をとらせていただければと思う。
- 委員
- ・ 今の話は、非常に重要である。あまり、つらつらと説明を書いてしまうと文章の流れが無くなるのが危惧される。脚注で補足説明をするという手はあるが、判断は任せる。
- 委員
- ・ 9ページ以降の矢印部分の提言の構成について、体言止めと文章が混在している。それらを統一しない場合、提言がわかりにくい。
 - ・ 例えば、10ページ「(2) 効率的・効果的な行政経営」の「DXを活用した業務効率化」の部分では、「推進している」や「想定される」という実績や取組からこうなるということを提言の中に入れてしまっている。実際の提言は、「その際、」以降の「～すること」というところであり、「～である」や「～すること」が3か所混在している。
- また、「人口減少時代に合わせた行財政改革の推進」の部分では、第1パラグラフで取り組んできたことが書かれており、次に予測が入り、最後に提言がきている。ここも「～である」や「～こと」が混在している。
- ・ 11ページ「②公共私の協力関係の構築」の「事業継続のための対話による改善」の部分は、3行目までが実状で、提言ではない。
- 次の「適切なコスト管理とリスク分担」の部分は、提言のみで終わっており、問題ないかと思う。
- 12ページ「指定管理者制度の適切な運用」の部分では、3行目までが実績、その次に取り組みを述べており、提言ではな

い。

- ・同じく 12 ページ「③適切な受益者負担の設定」の部分は、提言のみで問題ないかと思う。

○事務局

- ・実績部分は、削除したほうが分かりやすい。

○委員

- ・矢印の箇所ではなく、前の章において実施してきた取組として書いた方が良い。

○会長

- ・9 ページ「4. 行財政運営の 4 つの取組について」の部分が、この審議会の肝になる内容であり、(1) から (4) が検討してきた 4 つの柱である。そのため、この 4 つのタイトルは、審議会で検討してきた特徴が出るような見出しにしたほうが良いと思う。

例えば「(1) 公共施設マネジメントの推進」は、従来より行っており、今後行う当たり前の話である。そのため、「物価・賃金・金利上昇下での公共施設マネジメントの推進」とすると特徴が良く出ると思う。もしくは、「インフレ」としても良い。見出しなので端的に 4 つの柱を表すことが出来れば良い。

- ・10 ページ「(2) 効率的・効果的な行政経営」のうち、「人口減少時代に合わせた行財政改革の推進」の中身は、市役所のサイズを人口減少に合わせていきましょうという話だったと思うが表現がボヤっとしている。人口減少時代というのは、職員数も人口減少に合わせていかないといけないという話ではなかったか。

○事務局

- ・人自体を減らすというより、経費削減・歳出予算削減に注力していたが、労務も減らさなければという提案。当然人口減少に合わせて職員数も減るというのは自然減の話で強調すべきでも無いので、労務量を削減する取り組みを考えなければならない。

○会長

- ・「人口減少時代に合わせた」というのは、何を意図しているのか。

- 事務局
- ・行政サービスの量自体が減少していくのに合わせなければというところもあるが、(2) のところの見出し自体が効果的・効率的というのは当たり前のことで、(1) がインフレに対応するということであれば、(2) は人口減少、いわゆる担い手不足への対応の方が主軸。公共私と職員自体も減らざるを得ないところの対応に DX も必要という意味合いなので、見出しは考えないといけない。
- 会長
- ・(2) の「効率的・効果的な行政経営」は、「人口減少時代」を入れてもいいのではないか。
- 事務局
- ・「人口減少時代の行政経営」、もしくは「人口減少時代における効率的・効果的な行政経営」としてはどうか。
- 会長
- ・10 ページの DX の箇所や、11 ページ「②公共私の協力関係の構築」も担い手不足の話をしている。こちらは、一旦、保留して次へ進めることとする。
- 委員
- ・「(3) 公営企業等の経営改革」の「経営戦略の進捗状況の確認と適切な関与のあり方」のうち、13 ページの 3 行目と 6 行目の「必要がある。」は、両方提言なので、文末を「取り込むこと。」や「努めること。」に変更が必要ではないか。また、「統合新病院経営に係る財政リスクの把握」の 3 行目までは、実状のため省けるものとする。
 - ・「(4) 健全な財政運営」は、特段問題ない。
- 会長
- ・「(3) 公営企業等の経営改革」は、こちらも見出しに特徴が表れていない。何が論点だったのかというと、財政リスクを意識するということであった。財政リスクまでタイトルに入れるかという問題はあるが、「不確実性の高まりに対応した公営企業等の経営改革」など、その問題意識が端的に表現できると良いと思う。
 - ・また、「(4) 健全な財政運営」の見出しも特徴がない。
- 事務局
- ・「(4) 健全な財政運営」については、委員のご意見の中にあ

った VUCA 時代を使用して「VUCA 時代の健全財政」はどうか。

- 委員 ・ その場合、先程の不確実性と被るのではないか。
- 会長 ・ このポイントは健全な財政運営をしていかないと投資的経費の財源が出てこないということであった。「健全な財政運営による投資財源の確保」はどうか。投資と財政の健全性を両立して行い、新しい社会課題が出てきた時に投資的経費が必要になる。健全な財政運営を行っていかなければ投資的経費が捻出できないということが問題意識としてあったのではないか。それが端的に表現できると良いと思う。
- 事務局 ・ 承知した。
- 会長 ・ そうすると、4つの見出しだけを見ても、審議会で検討してきたポイントがわかり、中身を読んでもよいのではないか。
- 委員 ・ これが伊丹市の行革の答申だと分かる表現をすることはとても大事である。ある程度特徴が付いたタイトルをつけていくことは、意識としては重要かと思う。どこでも使われるようなものではないような形にしていただけると良いと思う。
- 会長 ・ 形式的なことだが、提言にかかわるところは太字に目立つようにしていただくとか、重要なところは下線を引いても良いかと思う。
- 委員 ・ 3行目に「コロナ禍における収支改善」とあるが、支出が減ったことが原因であったかと思う。ここは、収支改善という表現でよいのか。伊丹市の財政状況は、結果として改善されたわけだが、どうか。
- 事務局 ・ 収支改善というのは、コロナ禍とちぐはぐ感がある。表現を改めさせていただく。

- 会長
- ・ 税収自体は落ち込みがあったが、影響はさほど受けておらず、国からの補助等が入ってきたことで、どこの自治体も収支が良くなったが、一般の感覚とは乖離しているような気がする。
 - ・ 1 ページの「はじめに」では、コロナに関する記載は無く、最後だけコロナが出てくるのは違和感がある。この記載は、無くても良いかもしれない。

- 事務局
- ・ 承知した。

- 会長
- ・ 他にご意見はないか。

- 委員
- ・ 「おわりに」で、相当具体的に書いていると思う部分がある。例えば、下から3段落目の「具体的には」という箇所は、「おわりに」という項目なのに具体的にという記述になっている。内容を見るとそこまで具体性が書かれておらず、読めばわかるので、そこまで修正は求めない。ここだけ強い文章に感じたが、そのままが良いかと思う。

- 会長
- ・ この後、1 週間程度皆さんからご意見をいただく期間を設けるので、持ち帰っていただいて、ご意見があれば事務局へ連絡するようお願いする。
 - ・ 本日頂いたご意見も含めて事務局と共に修正版を作成して、委員の皆様にご確認いただく予定としている。内容に関わる新しい項目ではなく、今まで議論した内容をうまく表現するご意見が中心だったので、修正等については、会長に一任していただければと思うがよろしいか。

〈意義無し〉

もし、来週までに頂くご意見の中で、重大な内容にかかわる修正があれば、改めて持ち回りという形で審議をいただく場合がある。それでは、これで議題をすべて終了する。

(2) 諸連絡 (省略)

- 会長
- ・ 5 回にわたる審議会で、大変充実した議論ができたと思っている。委員の皆様には、色々ご意見を出していただいたこと

や、制約が多いなか、日程調整にご協力いただいたことに、大変感謝申し上げます。審議会で議論した内容が、市に何らかの形で影響を与えることに期待する。

- ・これで第5回の行財政審議会を終了する。

署名

第5回 伊丹市行財政審議会議事録として確認します。

委 員 _____

委 員 _____